

<高知市高齢者保健福祉計画 指標・目標一覧>

高知市高齢者保健福祉計画	指標名	現状(第6期)		目標(第7期)	
		数値	時点	数値	時点
	65歳の平均自立期間	男性 17.48年 女性 21.08年	【平成27年】 (28年数値に置き換え 予定)	男性 18.0年 女性 21.6年	【平成31年】
	高齢者の自覚的健康感が 「とてもよい」「まあよい」の割合	75.70%	【平成29年度】	78%	【平成32年度】

第1節		指標名	現状(第6期)		目標(第7期)	
基本目標	施策の方向性		数値	時点	数値	時点
いきいきと暮らし続けられる ～高齢者の健康増進・社会参加による健康寿命の維持向上及び～	1-1 健康づくりの推進	いきいき百歳体操参加者数	7,457人/年	【平成29年7月調査】	9,000人/年	【平成32年調査予定】
		いきいき百歳サポーター新規育成数	319人/3年間	【平成29年度末】	360人/3年間	【平成32年度末】
	1-2 生活支援サービスの充実	第2層生活支援コーディネーター配置	0圏域	【平成29年度末】	5圏域	【平成32年度末】
		介護予防等サービス従事者育成数	16人/3年間	(平成28年度末時点)	120人/3年間	【平成32年度末】
		こうち笑顔マイレージ(ボランティア活動)登録者数	371人	(平成29年11月末時点)	600人	【平成32年度末】
		A類型(人員基準緩和)事業所数	1事業所	【平成29年度末】	3事業所	【平成32年度末】
		C類型(短期集中)事業所の創設	0事業所	【平成29年度末】	1事業所	【平成32年度末】
	1-3 市民が主体となる地域活動の推進	地域でのボランティア参加割合(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より)	12.6%	【平成29年度】	15%	【平成32年度】

第2節		指標名	現状(第6期)		目標(第7期)	
基本目標	施策の方向性		数値	時点	数値	時点
安心して暮らし続けられる ～暮らしに不安を持つ高齢者・家族等の生活を支える施策の推進～	2-1 ひとりになっても安心して暮らし続けられる支援	配食事業者における配食注文時のアセスメント(健康状態・低栄養リスク)の実施率	-	-	100%	【平成32年度末】
		食の改善支援に取り組む会場	-	-	1か所以上	【平成32年度末】
		ワンコインサービスの利用件数	2,304件/年	【平成28年度】	4,000件/年	【平成32年度】
	2-2 認知症になっても安心して暮らし続けられる支援	認知症の人の医療保護入院数	計測中	計測中	検討中	検討中
		認知症サポーター養成講座受講者数	5,067人/3年間	(平成29年11月末時点)	7,500人/3年間	【平成32年度末】
		認知症サポーターステップアップ研修受講者のうち、高知市社会福祉協議会へボランティア登録した認知症初期集中支援チームの設置	63人/3年間	(平成29年10月末時点)	90人/3年間	【平成32年度末】
		認知症初期集中支援チームの設置	2チーム	【平成29年度末】	3チーム	【平成32年度末】
		認知症初期集中支援チーム員対応者のうち、在宅継続者の割合	85.7%(各年)	【平成28年度】	90%(各年)	【平成32年度】
	2-3 重度の要介護状態になっても安心して暮らし続けられる支援	認知症カフェ開催か所数	21か所	(平成29年11月末時点)	27か所	【平成32年度末】
		入・退院時の引継ぎについて ① 退院時の病院からケアマネジャーへの紙面引継ぎ	53%	【平成28年度】 (29年度数値に置き換え 予定)	80%	【平成32年度】
		② 退院時カンファレンスの開催	49%	【平成28年度】 (29年度数値に置き換え 予定)	60%	【平成32年度】
	2-4 安心して暮らし続けられるための権利を守る支援	医療機関が在宅看取りを行った件数	357件	【平成27年】	400件	【平成31年】
		市長申立て件数	20件/3年間	(平成28年度末時点)	30件/3年間	【平成32年度末】
		市民後見人のバンク新規登録者数	14人/3年間	【平成29年度末】	15人/3年間	【平成32年度末】
	2-5 災害時でも安心して暮らし続けられる支援	高知市総合計画 第3次実施計画, 高知市強靱化計画, 高知市強靱化アクションプランに記載				

第3節		指標名	現状(第6期)		目標(第7期)	
基本目標	施策の方向性		数値	時点	数値	時点
住み慣れた地域で暮らし続けられる ～暮らしに不安を持つ高齢者・家族等の生活を支える施策の推進(住環境・公共交通など)～	3-1 多様な暮らし方の支援	第5節に記載				
	3-2 暮らしの中で受けられる介護サービスの充実	介護保険事業計画に記載				
	3-3 公共空間や交通のバリアフリー化	高知市交通バリアフリー基本構想, 高知市交通バリアフリー道路特定事業計画及び高知市地域公共交通網形成計画に記載				

第4節		指標名	現状(第6期)		目標(第7期)	
基本目標	施策の方向性		数値	時点	数値	時点
介護や看護に従事する人たちが誇りとやりがいを持って働き続けられる ～介護事業所・従事者の質の向上, 労働環境の整備促進～	4-1 事業所の質の向上	ケアマネジメント力向上のための研修体系作成	-	-	作成	【平成32年度末】
		自立を目指すケア研修 参加事業所のうち、1日の水分摂取量1,500cc以上の事業所の割合	42.8%(各年)	【平成28年度】 (29年度数値に置き換え 予定)	60%(各年)	【平成32年】
	4-2 事業所の職場環境の改善	「相談の場」実施回数	-	-	5回以上(各年度)	
		「相談の場」参加者数	-	-	50名以上(各年度)	

第5節		指標名	現状(第6期)		目標(第7期)				
基本目標	施策の方向性		数値	時点	数値	時点			
多様なサービスを効果的に受けられる ～保険者によるマネジメント機能の強化・推進～	5-1 多様なサービス主体との考え方や方向性の共有	関係機関との情報共有化システムの構築	-	-	構築	【平成32年度末】			
		介護保険制度や今後の超高齢社会の現状, 自立支援に関する啓発回数	-	-	200回/3年間	【平成32年度末】			
	5-2 地域高齢者支援センターの機能強化	地域ケア会議開催数	33回/3年間	(平成28年度末時点)	150回/3年間	【平成32年度末】			
		●「見える化」システムを活用した情報共有・地域分析の促進	「見える化」システムを活用した、事業の達成状況確認の実施回数	-	-	1回以上(各年度) ※高知県に報告予定			
			要介護認定の適正化	事後点検実施率(直営分・委託分)	100%(各年度)	100%(各年度)			
				分析と対策検討の実施回数	未実施	1回(各年度)			
			ケアプラン点検の実施	指定居宅介護支援事業所のケアプラン点検実施率	100%(各年度)		100%(各年度)		
				ヒアリングを実施したケアプラン点検での指摘事項改善率	-	-	80%(各年度)		
			住宅改修の点検, 福祉用具購入・貸与の調査	住宅改修・書類点検と訪問調査(必要時)の実施率	施工前・後ともに100%(各年度)		施工前・後ともに100%(各年度)		
				福祉用具購入・貸与・書類点検と訪問調査(必要時)の実施率	購入・貸与前 100%(各年度)		購入・貸与前 100%(各年度)		
			5-3 地域分析に基づく保険者機能の強化	●介護給付等に要する費用にかかる適正化事業の実施	縦覧点検・医療情報との突合	縦覧点検の実施率	100%(各年度)	100%(各年度)	
						医療情報との突合の実施率	100%(各年度)	100%(各年度)	
					介護給付費通知の送付	介護給付費通知の送付回数	2回(各年度)	2回(各年度)	
			適正化に関するシステムの活用	国民健康保険団体連合会システムからの出力帳票の内容確認実施率	一部実施	100%実施(各年度)			
				事業者等への照会, ヒアリングの実施回数	2回(各年度)	2回(各年度)			
	指導監査等の効果的な実施	対象事業所への実地調査実施率	100%(各年度)	100%(各年度)					
		集団指導等の実施回数	期中に2回	1回以上(各年度)					
	適正化事業の状況を把握(確認数値)	指標名	現状(高知市)		現状(中核市平均)				
		調整済み認定率	19.00%	(平成28年度)	19.00%	(平成28年度)			
		在宅サービスの調整済み第1号被保険者一人あたり給付月額	10,434円	(平成27年度)	11,683円	(平成27年度)			
		施設及び居宅サービスの調整済み第1号被保険者一人あたり給付月額	9,367円	(平成27年度)	8,999円	(平成27年度)			

※第7期からの新規事業については、現状は「-」と記載。

※第6期の確定値は、時点を【】で記載。測定中の数値は()で記載、もしくは空白。